令和6年度 議員と語ろう会実施報告書

班 名	1 班（1 日目）八幡会場
開催日時	令和6年10月 5日（土）14：00 ～15：30
開催場所	郡上市総合文化センター
参加者数	16人
出席議員	班 長：長岡文男 副班長：有井弥生 報告者：長岡文男 司会者：田中義久 記録者：有井弥生 みずのまり 受 付：野田かつひこ 池田源則
意見交換 (主な内容)	・ 高鷲では働き手が不足しており、<u>外国人労働者が活躍している</u>。外国人労働者について行政に支援して欲しい。<u>ビザ取得等司法的な手続きの支援に市の部署が入って欲しい</u>。住居確保の支援（宗教、文化等へも配慮）も、現在は企業で対応しているが、行政の支援があると報酬やサービスへ転化できる。 ・ <u>ふるさと納税の多額納入者に一時的に家屋提供</u>、期間限定で住んでもらい良ければ移住へ。 ・ 高齢化率が高く、10年も経たないうちに地域が消滅しないか心配。（今はまだ良い）<u>地域はどうしたら魅力的な地域となるのか、どうしたら住みやすく発展できるか、議会としては？</u> ・ <u>シニアクラブは全国的に衰退しているが、運営が厳しい状況</u>。郡上市は財政が厳しいので高齢者に手が回らない。<u>年寄りなしで地域づくりが出来るのか、補助等の支援を希望する。</u> ・ <u>空き家が増えて哀れな姿になっている</u>、今なら連絡がつく、今のうちに<u>手立て</u>出来ないか。 ・ 草刈りができず荒れ放題で困っている。<u>草刈りについて市へ要望あり</u>。大きい道路ができたが管理が出来ない。 ・ 自治会役員の任期は1年、今後担い手不足で自治会の統合も出てくる。<u>ガイドラインづくりやスケジューリング支援が必要となるが、支援は。</u> ・ 子育て支援については医療費無償やおむつのサブスクがある。今後は<u>給食費の無償化、未満児の保育費無償化 早期の小中学校の統合を進めて</u>いって欲しい。 ・ <u>八幡城は八幡の観光のシンボルだが、一部の場所からしか見えない</u>。どこからでも見えるよう<u>整備して欲しい</u>。（他道路要望あり） ・ 請願と陳情制度について、切実な思いで出している。勉強等真摯な対応を求める。 ・ <u>議員定数と選挙制度は民主主義の原点</u>。<u>減らして欲しくは無いが、減らしても1～2名で。</u>
要望・提言等	アンダーライン部分
その他 特記事項	

令和6年10月 6日
郡上市議会議長 森藤 文男 様

1 班 班長 長岡文男

令和6年度 議員と語ろう会実施報告書

班 名	2班（3日目）大和会場
開催日時	令和6年10月 26日（土）14:00～15:30
開催場所	大和庁舎
参加者数	13人
出席議員	班 長： 原 喜与美 司会者： 山田 智志 副班長： 森藤 文雄 記録者： 池戸 郁夫 報告者： 池戸 郁夫 受 付： みずのまり
意見交換 (主な内容)	・ 地域協議会が夢ビジョンとして提案したことが反映されていないが地域協議会を議員はどう捉えているのか。 ・ 新市政となって政策が見えてこない。事業を切ります、やりませんを議会としてどう捉えているのか、また行く末をどういうふうにしたいか ・ 偕楽園は縮小だけで地域の意見が取り入れられなかったが議員としてはどう捉えているのか。 ・ ホテル郡上八幡、子宝の湯などの閉鎖があり今後このような繰り返しがないように<u>指定管理も含め観光立市郡上としてバックアップ連携をして対策をしてほしい。</u> ・ 人口減少、少子高齢化により<u>自治会の班や組の存続ができない状況となりつつある。将来的にどうしていくか行政としても検討するべき。</u> ・ 要望書を毎年提出しているが何十年前の<u>要望事項もありいつかはやってもらえるのか。</u> ・ <u>耕作放棄地が増えてきている状況で委託業者だけでは賄いきれないがなにか対策をとっていくことができないか。</u> ・ 地域の体育館が廃止となると市から伝えられたが<u>体育館や公民館は避難所であり閉鎖はどの地域でも進んでいるのか。</u> ・ 外から見た郡上市として郡上踊りなど<u>郡上の長所を伸ばすような対策をとったらどうか。</u> ・ 公民館など人が集まるところは高齢者が多くなってきており椅子などの<u>購入補助がほしい。</u> ・ 空き家の活用について市街地ではない<u>一軒家の対応を考えてほしい。</u> ・ 主要地方道大和・美並線（夫婦橋）の<u>増水時に利用できない状況となる可能性があるが他の箇所も含め対策はどうなっているのか。</u> ・ 各閉校した学校の活用はどうなっているのか。 ・ 偕楽園のような福祉施設の計画が<u>高齢者が増えるなかで必要ではないか。</u> ・ <u>用水路が老朽化しており水が漏れているので、すぐにでも改善してほしい。</u> ・ <u>公民館の維持管理など老朽化により直してほしい。</u> ・ <u>市役所に提出物を出す書類の窓口の一本化を検討してほしい。</u> (働いていて時間がないため各課の回れない)

	・ <u>郡上の未来を考えると若い女性が住みやすい郡上にしてほしい。婚活の対策を含めて。</u> ・ <u>議会改革特別委員の設置に対して何らかの意見があったのか。重点的にどういうことをいつまでに行うのか。</u> ・ <u>偕楽園をコンパクト化していくとのことだが、<u>団塊の世代が増えるなか施設の縮小をするのはどうか。</u></u> ・ <u>助成金でエアコンの整備をしたとあったが、そのような助成金があることはもっと市民に知らせるべきではないか。</u> ・ <u>高齢による交通弱者が増えることにより何らかの連絡網などを作り対応できないか検討が必要ではないか。</u> ・ <u>広報誌配布時にチラシが多く、本当にこのチラシが必要なのか、全戸配布を回覧にするなど改善してもいいものもある。</u> ・ <u>市内のふれあいバスなど1週間に1回の地域と1日に2回の地域があるが同じ市においてなぜ違うのか不平等ではないか。</u> ・ <u>横断歩道の要望を依頼しているがやってもらえない。</u> ・ <u>特別支援学校は知的や障害で行くばかりじゃないので学校の捉え方の理解を広めて行っていただきたい。</u> ・ <u>不登校のおかあさんに対して考え方や情報の提供のあり方を検討していただきたい。</u> ・ <u>障害等の方が時間に縛られることなく働ける場所の提供又は場所を作っていたいただきたい。</u>
要望・提言等	アンダーライン部分
その他 特記事項	

令和6年10月31日

郡上市議会議長 森藤 文男 様

2班 班長 原喜与美

令和6年度 議員と語ろう会実施報告書

班 名	2班（1日目）白鳥会場
開催日時	令和6年10月 5日（土）14：00～15：45
開催場所	白鳥ふれあい創造館
参加者数	18人
出席議員	班 長： 原喜与美 司会者：森藤文男 副班長： 簗島もとみ 記録者： 和田樹典 報告者： 和田樹典 受 付：原喜与美・簗島もとみ、（簗島正人）
意見交換 （主な内容）	市民：郡上偕楽園の立て直し延期に伴い、高齢者に対する施設はあるが障がい者に対する施設が足りない、その上障がいの度合いが高くなると市内の施設では受け入れてもらえるところがなく市外の施設に頼らなければならない、偕楽園の見直し計画の中でその中に重度の障がい者が生活できる施設を作ることはできないか 議員：重度の障がい者の施設を考えて行かなければならないと思うが現時点ではそういった話は出て来ていない、県の補助金がなければ考えられない、重度の障がい者の施設は話し合っていない。 市民：特別支援学校は小中学部と高等部が離れたところにあるので不便である、 議員：立て直して統合の話がある中で高等部に関しては設備の改修が必要な部分があるがもうすぐ移転するからと改修ができていない。県の施設なので市では何ともできない。 市民：いろいろな情報の伝達が難しい、防災無線は一般の連絡には使えないのか。運動会等の連絡等、市のアプリは使い勝手が悪い地区別に情報が流せるシステム公民館、自治会、地域でばらばらの情報を統一してもらいたい 議員：総務部においてさっそく検討してもらうように連絡をしておく 市民：議員定数について数を減らしてほしい。18人もいない。いつになったら減らすのか 議員：現在議会改革特別委員会にて検討中。瑞浪市議会にどうやって定数を減らしたか先進地視察を行ってきた。 市民：一般質問の進め方が面白くない。通告にない質問をしても答弁拒否はしないように、 議員：あらかじめ通告書を出さないと執行部は返事ができない。会議がスムーズに進まない 市民：不登校児童生徒が増えている。本市でも100人近い子供たちがいる、政策提言が具体的な事業に反映されているかどうすれば確認できるのか 議員：一年の議員活動の中で12月に市長に対して政策提言を行う。これに対して市長からの返事は翌年、その中で予算に反映できるものとそうでないものがある。

	不登校の対策の拠点スマイルというものが八幡と大和にある。30日以上の不登校児童生徒が不登校児童と言うがそれ以下の児童は不登校児童とは言わない。 市民 家族が頑張るのは当たり前？頑張っても届かない部分は必ずある、その辺を行政や議会の人たちが考えてくれないと問題は解決しない。総務常任委員会と文教民生常任委員会でも考えてもらいたい。親御さんたちは頑張ってそして力尽きていく。議員は現状を見て行政に反映してほしい。 議員：文教民生常任委員会でも話し合っていく。 市民：議員の皆さんには地元の祭りやイベントにもっと足を運んで今の郡上を見てほしい 議員：議員活動はいろいろあるが連絡をもらえば足を運びますのでお願いします、議員は市民の皆様から負託されている。 市民：地域の声を聴いたことと議員の質問がリンクしているのか。市民1人1人が思っていること、悩んでいることを議員も考えてほしい 議員：地域の課題、声を聴くために足を運ぶ、議員とはこうあるべき。
要望・提言等	・ 高齢者に対する施設はあるが、障がい者に対する施設が不足している。特に、重度障がい者が生活できる施設が無いため求められる。 ・ 防災無線を一般放送に使用できるようにしてほしい ・ 市アプリは使い勝手が悪い。地区別に情報が流せるシステムが欲しい。公民館、自治会、地域でばらばらの情報を統一して得られるようにしてほしい ・ 議員定数を減らしてほしい ・ 一般質問について、通告になくても答弁してほしい。質問内容は市民が日常生活で困っている点など身近なものにしてほしい。 ・ 不登校児の周りにいる人たちとの話し合いが必要。不登校児童を持つ親や家族への支援強化が必要（経済面、精神面） ・ 議員と気軽に話してふれあうことができる機会があるとよい。（今の議員と語ろう会では発言しづらい。）
その他 特記事項	

令和6年10月29日

郡上市議会議長 森藤 文男 様

2班 班長 原喜与美

	③防災対応について (意見) ・環境が大きく変化し高鷲の避難所でも以前はエアコンが不要であったが、昨今は必要となって来ている。市の避難所に指定されている場所については、補助を増額できないか。 ・僻地（ひるがの・石徹白・小川地区等）では消防や、救急要請しても拠点が無いため対応がおくれてしまう。防災ヘリや、ドクターヘリが着陸するにも様々な問題があるため、舗装され単独着陸できるヘリポートを要望したい。 ・総合計画の見直しに際し、本当に市民、他市の人が住みたいと思えるような計画を立てて欲しい。 ・縦割り行政の見直しを進めてほしい。（例：空き家対策） ・地域環境格差の是正 子供らの部活動問題の解消 (親の意向で郡上に住み、思うような部活動参加が子の人数の問題にて選択することができない)
要望・提言等	・愛育会のような団体が、有意義に活動できるようなシステムの構築 ・議員とコミュニケーションをとる機会を増やしてほしい ・舗装されたヘリポートの設置と配置場所の見直しをしてほしい ・指定避難所に対する補助枠の増額 ・市民に理解しやすい総合計画の策定
その他 特記事項	

令和6年10月25日

郡上市議会議長 森藤 文男 様

3班 班長 蓑島正人

	・ シニアクラブは担い手不足。活動時や移動時の弁当代までカットされるようでは今後役を引き受けてくれる人がいなくなる。 →現状については執行部に伝えていく。 →シニアクラブの頑張りについては、よく理解をしている。 5. 治安の悪化について ・ 治安の悪化が心配。窃盗事案の情報提供はもっと速やかに行ってほしい。 ・ 子供たちの教育に力を入れてほしい。闇バイト等スマホに関連する事件の報道が目立ち心配。子供のころからしっかりと情報教育を行っていく事が必要なのではない。 →先日の窃盗事件について、情報を得てすぐ広報をするように執行部には伝えた。
要望・提言等	・ 奥住の国道の段差、二間手の歩道の修繕、木の伐採、谷川の手入れ等を要望しているが実施されない。危険箇所もあるので対応をしてほしい。 ・ 中学生のクラブ活動参加にかかる負担を明確化してほしい。住んでる場所によって参加の機会に影響がないように努めてほしい。
その他 特記事項	・ めいほうトンネルの開通で地域の交通の便が格段に向上した。関係各位に感謝を申し上げたい。

令和6年 10月 25日

郡上市議会議長 森藤 文男 様

3班 班長 蓑島正人

議員と語ろう会実施報告書

班 名	2班（3日目）和良会場	
開催日時	令和6年10月12日（土）14：00～16：20	
開催場所	和良町民センター	
参加人数	7人	
出席議員	班 長：原 喜与美 副班長：池戸 郁夫 報告者：山田 智志	司会者：和田 樹典 記録者：山田 智志 受 付：池戸 郁夫
実施 内容	意見交換	- 消防団について： 再編計画があるが、今年度中に結論が出るか難しい。操法大会は今年度から廃止となった。 - クリーンセンターについて： これまで検討してきたが、当初計画より諸般の事情から費用が大幅に増額しており、一度立ち止まり、改修または美濃市や関市との広域化も含めて見直しをする。 - 重層的計画について： 偕楽園は、大和北小跡地への移転計画があったが、今後、特養の利用者減少の見込みがあり、和良病院の40床や、市民病院の5F病棟の利用なども併せて見直す。また、学校（美並町内の小学校）、市民病院、白鳥病院、保育園、幼稚園など重層的な統廃合にどのように取り組むか検討していく。 - ノーベル賞を受賞された被団協について、議員1人ひとりから感想を求める。 - 空き家対策について自治会で面倒見ないといけないのか： 取り敢えず振興事務所へ相談してほしい。 - 空き家のガスパンを撤去できないか。関市は半年で撤去するとのこと： 消防署等対応出来ない。 - 山の木を切ることのみに補助金が出ている： 生活保全林事業は、家屋が近い為、木材を出しにくい場所が多く難題であるが、都度業者に相談してほしい。
要望・提言等	- 小駄良、河鹿地区の交通事情を改善してほしい。 - 和良町は道の駅を造ったが、ガソリンスタンドがない。何とかならないか。 - 集落協定の関連から里山が荒れている。農業機械への補助金が欲しい。 - 草木が道に覆いかぶさり、はみ出ている。対応するチェーンソーや、高所作業者等について補助の要件を緩和してほしい。 - ほとんどの地区が60歳、50歳以上。人口減少の対策をしてほしい。 - 新任でも再任の議員でも頑張してほしい。 - 少数意見が通らなくなるので議員定数は減らさないで大選挙区制がよい。 - 政治に対しての意見が言いにくいので、投票して表すのはどうか。 - 議会の席替えをすべきである。	
その他・特記事項		

令和6年 11月 2日

郡上市議会議長 森藤 文男 様

2班 班長 原喜与美